

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 24 年 4 月 5 日 (2012.4.5)

【公開番号】特開 2011-83356 (P2011-83356A)
 【公開日】平成 23 年 4 月 28 日 (2011.4.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-017
 【出願番号】特願 2009-236970 (P2009-236970)
 【国際特許分類】

A 6 3 B 69/36 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 69/36 5 0 1 B

A 6 3 B 69/36 5 0 1 C

A 6 3 B 69/36 5 4 1 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 24 年 2 月 21 日 (2012.2.21)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

スイートスポットを有する打球用スイング用具のスイートスポットを含むフェース部にボールを感知する接触感知接点を設け、前記スイング用具のグリップ部に前記接触感知接点からの信号を処理する接触感知装置を設け、前記スイング用具で球体を打ったとき、前記フェース部のどの箇所に球体が当たったかを前記接触感知装置で感知するようにし、前記接触感知装置で感知した感知データを加工処理して記録又は表示するようにしたことを特徴とするスイング練習装置。

【請求項 2】

前記スイング用具のスイングスピード測定部位に、信号発信接点と信号受信接点を設け、前記グリップ部に前記各接点に接続する速度処理装置を設け、該速度処理装置は、前記信号発信接点から電磁波を発信し、この電磁波の反射波を前記信号受信接点で受信して、スイング速度を演算するようにし、前記速度処理装置で演算した演算データを加工処理して記録又は表示するようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載のスイング練習装置。

【請求項 3】

スイートスポットを有する打球用スイング用具のスイートスポットを含むフェース部にボールを感知する接触感知接点を設け、前記スイング用具のグリップ部に前記接触感知接点からの信号を処理する接触感知装置を設け、前記スイング用具のスイングスピード測定部位に、信号発信接点と信号受信接点を設け、前記グリップ部に前記各接点に接続する速度処理装置を設け、前記スイング用具で球体を打ったとき、前記フェース部のどの箇所に球体が当たったかを前記接触感知装置で感知するようにし、前記速度処理装置は、前記信号発信接点から電磁波を発信し、この電磁波の反射波を前記信号受信接点で受信して、スイング速度を演算するようにし、前記接触感知装置の感知データを加工処理して記録又は表示するとともに、前記速度処理装置の演算データを加工処理して記録又は表示するようにしたことを特徴とするスイング練習装置。